↓昨年度のようす。大盛況でした✨

Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月刊情報　２０２４年５月号

〔発行元〕**岩手県赤十字血液センター献血推進課**
〒020-0831　岩手県盛岡市三本柳６-１-６
TEL：019-637-7201

6/16いわぎんスタジアムにて、今年も「シャレン！で献血」を実施いたします！「シャレン！で献血」とは、日本赤十字社と明治安田生命様、Jリーグ全クラブが協力して行う献血活動です。サッカー観戦とともに献血はいかがですか？

CONTENTS

✓６月１４日は「世界献血者デー」です☆
✓献血の「表彰・顕彰制度」をご存知ですか？

TOPICS

6月14日は「世界献血者デー」です☆

６月１４日は、２００５年に正式に制定された「世界献血者デー」です。この日は、世界中の国々で献血が命を救う贈り物であり、献血に協力していただく方に感謝するとともに、輸血を必要とする患者さんのために献血が欠かせないことを知ってもらう世界的な記念日です。期間中は、世界各国で工夫を凝らした様々なイベント等が行われます。

献血によって支えられている輸血用血液製剤や血漿分画製剤の多くは、高齢者の医療に使われており、輸血用血液製剤を使用されている方の約８５％は５０歳以上の方々です。
一方で、献血に協力いただいている方の約６０％は５０歳未満の方々であり、この世代の方々が輸血医療を大きく支えています。しかし、若年層（１０～３０代）の献血者数は減少傾向にあります。

日本の少子高齢化が今後ますます進んでいくと、将来の安定的な供給に支障をきたす恐れがあります。血液は長期保存をすることができませんので、医療機関に安定的に供給するためには、絶えず多くの方々の献血協力が必要です。

今後の安定供給のためにも、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠になっています。「世界献血者デー」をきっかけに、献血に一歩踏み出してみませんか？

↑2023年「世界献血者デー」ポスター

TOPICS　献血の「表彰・顕彰制度」をご存知ですか？

さまざまな治療に役立てられている輸血用血液製剤や血漿（けっしょう）分画製剤などは、無償でご協力くださる方々の善意の献血から造られています。

日赤では「献血への感謝の気持ちを伝えたい」との思いから、工夫を凝らしたプレゼントや記念品（バッジなど）を進呈してきました。さらに、継続的に献血にご協力いただいた方へ深い感謝の意を表すため、その功労を称える「表彰制度」および「顕彰制度」を設けています。

1980（昭和55）年以降の表彰制度は、献血30回で銀色有功章、50回で金色有功章の楯が贈られていました。この有功章の楯は多額の寄付をされた方に贈られる楯と同じものでした。1995（平成7）年度の制度基準変更により、現在は70回で銀のガラス盃（銀色有功章）、100回で金のガラス盃（金色有功章）が贈られます。

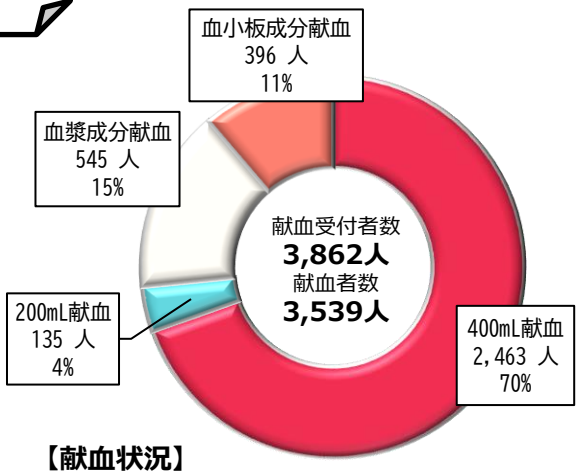
顕彰制度も時代とともに変化し、現在は献血10回、30回、50回に達するごとに、有田焼小皿や今治産無撚糸フェイスタオル、若狭塗箸2膳セットからお選びいただける“選択制記念品“が贈られます。

また、継続的に献血へご協力いただいている企業・団体の方には、各都道府県において開催される献血イベントや皇室の方々もご臨席いただく献血運動推進全国大会などで感謝状が贈られます。

日本赤十字社ホームページ【献血まるわかり辞典】vol.10「表彰・顕彰制度」https://www.jrc.or.jp/about/publication/news/20230105_030202.htmlより引用

Data　岩手県の献血・供給状況（４月）

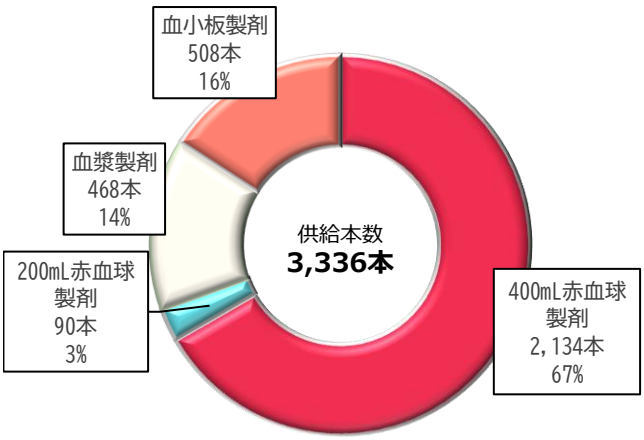
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200ｍＬ換算で**5,061本**、400mL献血率（400mL献血者数／全血献血者数）は**94.8%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。
岩手県赤十字血液センターホームページ　**https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/index.html**

Blood Information ブラッド・インフォメーション 献血月刊情報